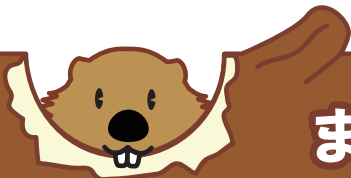


発見!!



まちの EAGER BEAVER



市ゆかりのイーガービーバー（熱心ながんばりやさん）を紹介します。



ミラクルスマイル新居浜の皆さん



ゴールに喜び、叫び尽くす選手たち

四国唯一のプロフットサルチーム

ミラクルスマイル新居浜

ホームタウンである新居浜に元気と活力を与え、スポーツの力で地域を盛り上げたい。その思いを胸に、12月まで開催されるFリーグ2部を戦っています。

フットサルはコートやボールがサッカーに比べて小さく、1チーム5人で試合を行う競技。試合展開が目まぐるしく変化するため、選手の一瞬の判断力と技術力が試されます。チームの強みは、試合展開に合わせた守りから攻めへの切り替えの早さ。昨シーズンでは十分に生かしきれなかったため、得点力の改善や粘り強さを鍛え、カウンター力の向上に努めています。

チームの活躍はコートの外でも。イベントへの参加や、子どもたちへのサッカーの普及活動など、地域での活動を大切にしています。キャプテンの鈴木雄大さんは、「ショッピングモールや温泉施設などでいろいろな人に声をかけてもらえる」と地域のつながりを実感しています。

今シーズンのスローガンは「新居浜を叫び尽くす」。試合前には信頼関係を築き上げてきたファンと共に、「3・2・1新居浜!」の掛け声で会場を盛り上げます。

発足から35年「生涯サッカー」を目指す

レベニロッソ NC

「続けることが出来る場所」がチームビジョン。「続ける」には、チームの存続だけでなく、何歳になっても続けられる「生涯サッカー」の場でありたいとの願いが込められています。

新居浜商業高校サッカー部OBによる「新商クラブ」が前身。地域全体に開かれたクラブにしたいと、発足30年目の2020年、「レベニロッソ NC」に改名しました。県リーグで腕を磨き、2016年、四国リーグに昇格。昨年度、天皇杯全国大会への初出場を果たしました。現在は、高校生から40代まで幅広い年代の選手が練習に打ち込んでいます。

地域活性化にも目を向け、「いかに地域に人を呼び込むか」に力を入れます。チームをきっかけに市外から移住するケースも。キャプテン藤本海斗さん（26）もその一人。「愛媛で一番有名な社会人チームだったので、ここでプレーしたくて移住しました。チーム内の仲がいいのが魅力です」と語ります。

アマチュアながらプロと対戦できるのも、選手のモチベーションアップにつながっているそう。「目指すはプロではなく、働きながら高いレベルでサッカーを続けること」と源代真民代表。地域に根差した、感動を与えられるチームが目標です。



レベニロッソ NC の皆さん



選手やスタッフの仲の良さも魅力の一つ